Press Release

ヒビノ株式会社
〒108-0075 東京都港区港南 3-5-14
https://www.hibino.co.jp/

2025年5月20日

ヒビノグループ、大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン「XD HALL」に音響・映像・床振動システムを納入。360 度、全周囲に「モンスターハンター」の世界が展開される超没入体験を実現

～ シアタースクリーンに最適な音響透過型 LED ディスプレイ・システムの高精細モデルを新開発。世界に類を見ないイマーシブシアターが誕生 ～

ヒビノ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：日比野 晃久）は、日本環境アメニティ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：一色 伸悟）等のグループ企業と連携し、大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオンにて株式会社カプコン（本社：大阪市中央区、代表取締役社長 COO：辻本 春弘）が体験型コンテンツ『モンスターハンター ブリッジ』を出展するミライのエンターテインメント体験施設「XD HALL」の音響・映像・床振動システムの設計・施工を担当しました。「夢と現実が、ひとつになる。」というモンスターハンター ブリッジのコンセプトを音と映像の持つ力で叶えるため、床面直径約 12m×天井高約 5m の円筒形ホールに、スピーカーが見えないイマーシブサウンドシステム、新開発の音響透過型高精細LEDディスプレイ・システム及び 4K プロジェクターによる 360 度シアター、床振動を組み合わせた超没入型ソリューションを提案し、納入に至りました。体験者の全周囲を包み込む高精細映像とその動きに精密に追随する音響、床振動、専用 AR デバイスの映像・音声情報を融合させた、世界に類を見ないイマーシブシアターによる臨場感あふれる超没入体験を実現しています。2025 年 4 月 13 日の開幕より運用が開始されております。





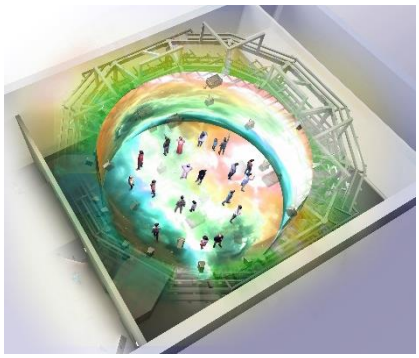
かつてない究極の臨場感が楽しめる未来のエンターテインメント体験施設「XD HALL」

XD HALL は、円筒型シアターの壁・天井・床の全方向に映し出される高精細映像、壁面と天井の裏にくまなく配置した 89.1 チャンネルのスピーカーによるイマーシブサウンド、床振動、体験者が装着する専用 AR デバイスの映像・音声が融合する超没入型のこれまでにない体験施設です。映像の中から本当に音が出ているかのような究極の臨場感を提供します。モンスターハンター ブリッジのコンセプト「夢と現実が、ひとつになる。」と大阪ヘルスケアパビリオンのテーマ「REBORN（リボーン）」に込められた

意味「新たな一歩を踏み出す」を踏まえ、まだ誰も経験したことのない新たなエンターテインメント体験を提供する施設としてヒビノグループが音響・映像・床振動システムの設計・施工、内装工事を行いました。前後左右、頭上、足下まで全周囲に展開される「モンスターハンター」シリーズの世界を全身で感じ、アイルーとのふれあいや迫り来るモンスターの驚異など、ここでしか体験できない特別な「モンスターハンター」を味わうことができます。



モンスターハンター ブリッジ
©CAPCOM


XD HALL 内部イメージ
提供：（公社）大阪パビリオン



XD HALL 外観

● **新開発の音響透過型LEDディスプレイ・システムとプロジェクターによる前後・天地・左右の全周囲シアター**





円筒型シアター内の側面と天面には、新開発の音響透過型高精細 2.5mm ピッチ LED ディスプレイ・システム ChromaVision025 を納入。画面サイズは、高さ 4.8 メートル、内周 37.76 メートルの完全リングと直径 12.7 メートルの天面です。画面の後ろに設置したスピーカーの音を透過できる、シアタースクリーンに最適な高精細・高画質 LED ディスプレイ・システムとなっています。

従来、LED 素子が密に配置されている高精細モデルでは、パネルに透過穴を設けることが難しく、現状の市販品は、横のみを高精細 2.5mm ピッチ、縦を 5mm ピッチにするなどしてパネルに透過穴の施工領域を確保しており、完全な高精細とは言えませんでした。当社は基盤を新設計し、縦横同一2.5mm ピッチによる完全な高精細表示の音響透過型高精細 LED ディスプレイ・システムを業界に先駆けて開発しました。多くのスタジオの音響設計・施工を行うグループ会社の日本音響エンジニアリング株式会社で音響計測・評価を実施し、高い音響透過性能と十分な音質を確認しております。さらに、視野角の広い設計により、体験者は美しい作品世界を視界いっぱいに捉え、深い没入感を味わうことができます。

また、画素ピッチが精細になるにつれ、高度な施工技術が求められる完全リング設置及び水平設置に

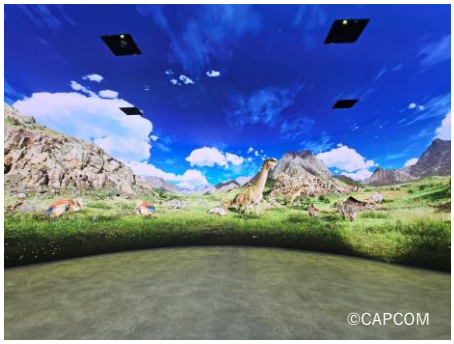
ついても、卓越した施工技術により均一で視覚的に美しい巨大ディスプレイを形成しました。さらに、完全リング LED ディスプレイの 2 ヵ所に、体験者が出入りする片開き扉の機構を設けました。厚さ 40cm の扉の開閉に必要となる扉と壁の隙間を極限まで狭めた設計により、扉を閉めた際に LED ディスプレイのつなぎ目がほとんど目立たず、体験者に扉の存在を感じさせません。一貫した美しい映像でシアター内を覆うことを可能としました。



LED ディスプレイ扉



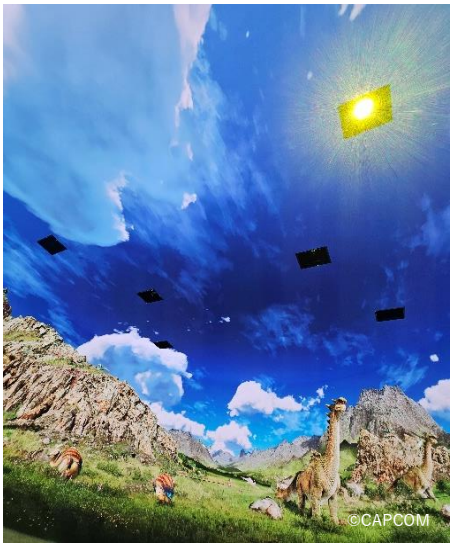
開扉時



閉扉時

床面に対しては、シアター天面に 4K レーザープロジェクター6 台を設置し、投影先である床スクリーンの設計・施工も行いました。異なる映像表示装置を用いる「床面」と「壁面・天面」の表示を精密に調整・整合するとともに、プロジェクターの投影に適した床材の検証により、間近に高輝度 LED 発光があるなかでも黒の再現性とコントラストの高い鮮やかな映像表示を実現しました。

また、体験者の手の動きにコンテンツが連動するインタラクティブ要素があるため、映像の遅延は臨場感に影響します。超低遅延伝送を実現するべく SDVoE 規格 (※1) を採用し、4K 60fps×12 系統の映像信号を限りなく低遅延で LED ディスプレイ及びプロジェクターへ伝送しています。



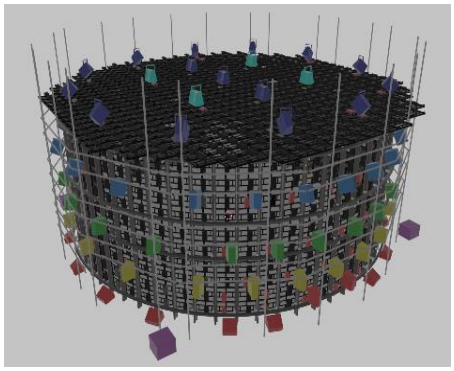
天面プロジェクター投影口 6 つ



床スクリーン

● 映像と一体化するイマーシブサウンドがコンテンツに命を吹き込む

イマーシブサウンドシステムは、LED ディスプレイの後ろから体験エリアを包み込むように配置した側面 70 台、頭上 19 台のイマーシブスピーカーとサブウーファー4 台で構成する 89.1 チャンネルの立体音響です。体験者にスピーカーを一切見せることなく、大人から子どもまで体験エリアのどこにいても、均一な音量、音質、音像定位（音の位置や距離）を提供できるよう設計しました。また、LED ディスプレイ越しに体験エリアへ理想の音を届けるため、透過時に損失しやすい高音域の再現性能に優れた CODA AUDIO フルレンジ・スピーカー「D12」を採用。同軸スピーカーの利点を活かした明瞭かつ安定した音像定位の描写により、音の輪郭を感じられるような立体的な音響を実現。映像の中から本当に音が出ているかのような究極の臨場感を提供します。


スピーカー配置イメージ

また、静寂なシーンの表現にもこだわり、騒音源となり得るプロジェクターのファン、床吹き出し空調に消音装置を設計・施工しました。これにより、映画館の基準に限りなく近い静音性を実現。大迫力から静寂のシーンまで、コンテンツに没入し続けられる音響空間となっています。

さらに、体験者が装着する専用 AR デバイスのオンイヤーサウンドデバイス（イヤホン）は、株式会社トクミとの共同開発製品です。演出上、イマーシブサウンドと AR デバイスの音声を同時に楽しめることが重要であるため、高音質で豊かな低音再生を可能とする音響性能と外部の音を取り込める構造に設計しています。イヤホンが耳の穴をふさがないよう位置を調整できる可動式の仕様で、一人ひとりの耳の位置に合わせた調節が可能です。すべての人に優れた音響体験を提供します。



赤枠：オンイヤーサウンドデバイス
（画像：カプコン提供）

● コンテンツの迫力と没入をさらに高める床振動システム

体験エリアの床は、演出に合わせて振動する床振動システムを設計・施工しました。振動源によって効率的に振動し、意図する揺れ表現を実現できる床でありながら、振動機能の不使用時の防振にもこだわり、振動体験と安定した歩行を両立。床振動によりコンテンツのリアルな触感・衝撃を演出し、全身で味わう臨場感と没入感を提供します。

● シアターの安定稼働を支えるリモート管理システム及び保守体制

当社は、音響・映像・床振動システムを安定運用するため、信頼性あるシステム設計に加え、その稼働状況を常時遠隔にて監視・制御できるリモート管理システムを構築し、保守サービスと合わせて提供しています。シアターにはスピーカーの音声トラブルを検知するマイクロホンや映像表示を監視するカメラを配備、マシンルームの設備も複数のカメラで異常の有無を監視します。また、マシンルームからシアターへ音と映像の信号を送る送出システム一式は、いかなる場合にも本来の機能を維持できるようメインと予備の二重にシステムを構築しており、異常が見られた際は遠隔制御で瞬時に切り替えるなどの復旧支援が可能です。当社グループの豊富な実績に裏打ちされた信頼性の高いシステムと保守体制により、シアターの安定稼働を支えます。

● ヒビノグループの企業使命「音と映像で、世界に感動をクリエイトする」

Osaka Healthcare Pavilion
Nest for Reborn

HIBINO

ヒビノグループは、大阪・関西万博において大阪ヘルスケアパビリオン「XD HALL」をはじめとする 50 カ所以上のパビリオン・施設・イベントに音響・映像・照明等の幅広いソリューションを提供しています。グループの総合力で大阪・関西万博の成功に貢献するとともに、音と映像におけるエンターテインメント分野のリーディングカンパニーとして、これからも挑戦と技術革新を続け、まだ誰も体験したことのない新たな感動の創出に取り組んでまいります。

納入概要

顧客	株式会社カプコン
納入施設	大阪・関西万博「大阪ヘルスケアパビリオン」XD HALL
展示（上映内容）	『モンスターハンター ブリッジ』
公式サイト	https://www.capcom-games.com/mh-bridge/ja-jp/
運用開始日	2025 年 4 月 13 日（日）

【業務範囲】

ヒビノ株式会社［機材納入・システム設計］

LED ディスプレイ・システム	製品名：ChromaVision025 画面サイズ：【側面】高さ 4.8m×幅（内周）37.76m（約 181 ㎡）、【天面】直径 12.7m（約 140 ㎡） 解像度：【側面】縦 1,920 ピクセル×横 15,104 ピクセル、【天面】5,120 ピクセル×5,184 ピクセル 画像ピッチ：2.5mm 視野角：水平 160°、垂直±80° 透過率（※2）：10%
イマーシブサウンドシステム	CODA AUDIO フルレンジ・スピーカー「D12」（89 台）、サブウーファー「APS-SUB」（4 台）、パワーアンプ「LINUS 14」（23 台） Sonifex オーディオインターフェイス「AVN-AO16R」（10 台）
その他	Panasonic レーザープロジェクター「PT-RQ35KJ」（6 台） HIBINO・TOKUMI 共同開発 AR デバイス用オンイヤーサウンドデバイス（200 台） BEHRINGER パワーアンプ「NX4-6000」（11 台）等

日本環境アメニティ株式会社［内装工事・建築音響工事］

- 床振動システムの設計・施工／鉄骨下地（メインフレーム）の設計／鉄骨下地（LED ディスプレイ用サブフレーム）の設計・施工／LED ディスプレイ扉開閉機構の設計・施工／床スクリーンの設計・施工
- 空調消音工事／プロジェクター消音装置の設計・施工
- 音響・映像設備に関する工事管理、プロジェクター及び LED ディスプレイの施工

ヒビノスペーステック株式会社

- イマーシブサウンドシステムの施工

（※1）SDVoE 規格とはイーサネットを使用した AV over IP 伝送規格。
（※2）透過率とは単位面積あたりの背景が透過して見える部分の面積比を指します。

以上

本リリースに関するお問い合わせ

●報道関係者様からのお問い合わせ

ヒビノ株式会社 ヒビノ GMC 経営企画グループ 広報課　TEL：03-3470-4391（代表）
E-mail：ir@hibino.co.jp

●お客様からのお問い合わせ

業務用音響・映像機器、音響システムの導入	ヒビノ株式会社 ヒビノマーケティング Div. TEL：03-5419-1550
LED ディスプレイ・システムの導入	ヒビノ株式会社 ヒビノクロマテック Div. LED ソリューション部 TEL：03-5419-1607
建築音響に関する設計・施工	日本環境アメニティ株式会社 大阪事業部 TEL：06-6252-7032
音響・映像システムの設計・施工	ヒビノスペーステック株式会社 システム事業本部 TEL：03-5419-1576（代表）